

News Letter

このニュースレターでは、大学院教育支援機構、国際高等教育院、学務部に関する最新の活動や取り組みについてお知らせします。

留学生のリクルーティング

「KU-STAR Program for Australia 2026」を実施

大学院教育支援機構では、海外の優秀な学生に本学の研究環境を体験してもらい、大学院留学生の増加を目指す「Kyoto University Short-Term Academic Research (KU-STAR) Program」を推進しています。2026年1月8日から2月20日にかけてオーストラリアの学生を対象に本プログラムを実施しました。

●多様なバックグラウンドを持つ精鋭10名が来日

今年度は、48名の応募者の中から選ばれた修士生9名・学部生1名の計10名を受け入れました。メルボルン大学、モナシュ大学、アデレード大学、RMIT大学の4校から、国籍もオーストラリア、中国、インドネシア、香港、フィリピンと多様な精鋭が集結。学生たちは、医学、工学、農学、人間・環境、エネルギー科学、情報学研究科や地球環境学、総合生存学館、化学研究所、防災研究所の研究室で、それぞれの研究に従事しました。



●企業訪問や日本語・日本文化体験

滞在期間中は、各研究室での活動に加え、京都大学iPS細胞研究所(CiRA)や包括連携協定を締結している島津製作所への訪問、大学院進学説明会等を通じて本学の教育・研究や日本企業における研究や環境への取り組み、キャリア構築への理解を深めました。また、レベル別の日本語授業に参加したほか、京都市の協力により京和傘の老舗「辻倉」での姫和傘づくり体験を通じ、京都ならではの伝統工芸にも触れました。

●成果発表会と今後の展望

2月19日の成果発表会では、研究成果のポスター発表と口頭発表を行いました。修了式では、オーストラリア大使館のスーザン ジョーンズ参事官(教育・研究)よりビデオメッセージもいただきました。短期間の研究活動を通じ、大きく成長した彼らが、将来、大学院生や研究者として京都大学へ戻ってきてくれることを期待しています。当機構では、今後も海外の優秀な学生を対象に同プログラムを実施予定です。受け入れ研究室を随時募集しておりますので、ご関心のある先生は大学院教育支援機構までご連絡ください。



フィリピン政府との奨学金プログラムを立ち上げ、調印式を実施

フィリピン政府科学技術省 (DOST) 傘下の農林水産天然資源研究開発協議会 (PCAARRD) および科学教育研究所 (SEI) との奨学金プログラム「PhilDOST-Kyoto University Graduate Scholarship Program」を立ち上げました。



本プログラムはフィリピンの農業・水産・天然資源分野における人材育成を目的とし、奨学生は本学での授業料・入学料全額、生活費等の支援を受けます。分野の親和性が高い農学研究科、生命科学研究科、地球環境学堂の賛同を得て発足しました。

12月16日にはDOSTの代表団が来学し、調印式と地球環境学堂への訪問を実施しました。本プログラムを通じて、フィリピンとのさらなる学術・研究交流の発展が期待されます。



JICA インターンシップ・プログラム学内説明会を開催

2026年1月15日、JICA インターンシップの学内説明会を吉田南キャンパスおよびオンラインにて開催し、約80名が参加しました。

冒頭、佐藤 洋史 総合生存学館 特定教授がJICA インターンシップ・プログラムの概要を説明し、続く体験談では学生4名が国内外での活動や準備などについて具体的に報告しました。後半の個別相談会では、JICA 関西センターの鍛冶澤千重子開発大学院連携課長らが加わり、参加者の質問に直接回答しました。募集ポストの選び方やJICA 事業について、職員や先輩からリアルな助言を得られる貴重な機会となりました。



奨学金制度参画企業18社との交流会「DDD Roundtable 2025」を開催

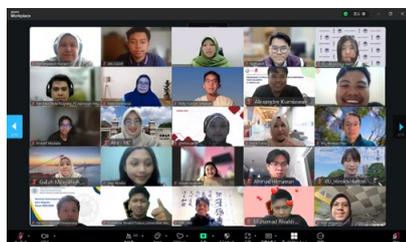
「企業寄附奨学制度 (通称DDD)」の産学協同教育の一環として、2月12日に参画企業18社との交流会「DDD Roundtable 2025」を開催し、約100名が参加しました。

ラウンドテーブルでは、「大学での研究やアイデアを社会実装するには?!」をテーマに、立場を超えて活発な意見交換が行われました。また、終盤のネットワーキングを通じ、学生はより深く企業の実情に触れることができました。

本イベントは、学生にとっては新たな可能性や興味の開拓に繋がり、企業にとっては学生のユニークな視点に触れる機会となりました。今後もこうしたイベントを実施し、学生のキャリア形成を支援してまいります。



インドネシア向けオンライン留学フェアを開催



2026年2月7日に「Kyoto University Online Study Abroad Fair for Indonesia 2026」をオンラインにて開催しました。当日は、本学の大学院に関心を持つインドネシアの学生を中心に475名が参加し、大変盛況なイベントとなりました。第一部では大学院の概要や奨学金制度、教員による研究紹介、元留学生による体験談の紹介を行い、第二部ではブレイクアウトルーム形式によるQ&Aセッションを実施しました。多くの学生が第二部のQ&Aセッションまで参加し、本学への高い関心がうかがえる機会となりました。

キャリア支援

大学院教育支援機構奨励研究員によるポスター発表会・研究交流会 (10月28日、29日、30日)

本イベントは、大学院教育支援機構が経済支援を行う博士課程学生が自身の研究成果を発表し、研究科や研究室など既存の枠組みを超えた議論・交流を通して、研究者としての資質やトランスファラブルスキルの向上を図ることを目的に開催しました。

平島崇男 大学院教育支援機構長の激励の挨拶の後、幅広い分野から3日間で延べ179名の学生がポスター発表を行いました。

さらに、11社の企業および本学総合研究推進本部のURAが参加したほか、産学協働イノベーション人材育成協議会およびジョブ型研究インターンシップ推進協議会によるインターンシップ相談ブースも設置し、学生にとって今後の研究活動やキャリア形成に大きな刺激となる、貴重な機会となりました。

会期中は、学生・教職員・企業関係者など約100名が来場し、分野や立場を超えた活発な交流の場となりました。



国際教育支援

2025年度後期「協定校ひろば」を開催

2025年11月14日に、交流イベント「協定校ひろば」を開催し、交換留学予定者や交換留学に興味を持つ学生、交換留学生など、約85名が参加しました。

11校*の協定校からの交換留学生在が各大学や自国を紹介し、その後のフリートークでは活発な質疑応答が行われ、終了後も交流が続きました。

*リーズ大学、シェフィールド大学、ソウル大学校、カリフォルニア大学サンタ・クルーズ校、プリティッシュコロンビア大学、シュトゥットガルト大学、ルーヴェン・カトリック大学、アーヘン工科大学、コッチ大学、オタゴ大学、シドニー大学



国際教育支援

国際交流イベント「しめ縄づくり」を開催

2025年12月22日に国際交流イベント「しめ縄づくり」を開催しました。

ピアチューター(学生オフィス・アシスタント)が、日本のお正月の過ごし方や、しめ縄飾りに込められた願いを英語で紹介した後、留学生と日本人学生がペアになり、しめ縄を飾り付けました。折り方や言葉の意味を教え合いながら、和やかな雰囲気の中で新年を迎える準備を行いました。



国際教育支援

国際交流イベント「ウクライナ文化イベント」を開催

2026年1月8日に「ウクライナ文化イベント」を開催し、85名が参加しました。本イベントは、本学で受け入れているウクライナ学生が企画しました。



ウクライナの伝統行事や料理、民族衣装の紹介に加え、自分の名前をウクライナ語で書くワークショップも行われ、その後の交流タイムへと続きました。参加者にとって、ウクライナ文化について英語で学ぶ機会となっただけでなく、ウクライナについてもっと知りたい、今後も交流を続けたい、と考えるきっかけとなりました。



国際教育支援

大学間交換留学1次募集(2027年1月～6月出発)を開始

大学間学生交流協定に基づき、2027年1月～6月に出発する交換留学1次募集を開始しました。留学先の授業料は不徴収で、154ある世界中の協定校へ1学期以上1年以内の期間留学し、科目履修や研究指導を受けることができます。2025年度は139名を派遣しました。

また、募集に先駆け、本学学生へ積極的に海外留学情報を提供するため、10月に留学相談会「秋の留学のススメ」を開催しました。80名を超える学生が参加し、留学経験のある学生と職員がブース形式で質問対応をしました。今後も留学関連イベントを通じて、海外留学を促進していきます。

大学間交換留学の
詳細はこちら



キャリア支援

「京都大学卓越ワークショップ2025」を開催

2025年12月24日、芝蘭会館にて「京都大学卓越ワークショップ2025」を開催しました。「壁を超える -大学院横断教育の展開-」をテーマに、卓越大学院プログラム、博士課程教育リーディングプログラム、大学院教育支援機構教育コース、SPRING・次世代AIプログラムに参加する学生・教職員を中心に161名が出席しました。



杉野日道紀 副学長の挨拶、國府寛司 理事の基調講演に続き、修了生3名によるキャリアパス紹介や現役生5名の研究成果発表が行われました。70名によるポスターセッションでは専門を超えた熱心な議論が交わされ、異分野交流の意義を再確認する機会となりました。

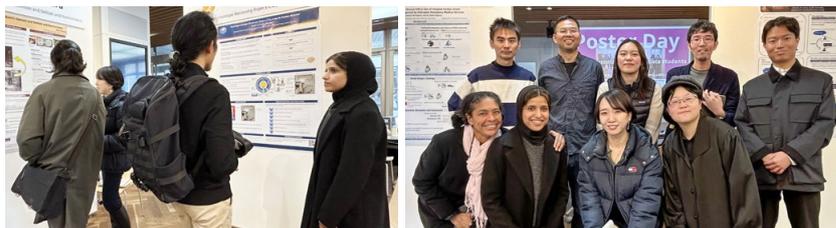


国際教育支援

「Poster Day」を開催

2025年12月5日、国際高等教育院棟1階エントランスホールにて「Poster Day」を開催しました。国際学会等を控えた8名の大学院生が、国際高等教育院i-ARRC英語教育部門

のMcCarthy先生から英語プレゼンテーションの指導を受け、その成果を披露しました。会場には、人文科学から自然科学まで多岐にわたるポスターが並び、多くの学生や教職員が足を止め、熱心な質疑応答が交わされました。専門外の相手に英語で研究を伝える実践的な訓練の場となり、発表者にとっては自身の英語発信力に磨きをかける貴重な機会となりました。



 Kyoto University
Division of Graduate Studies
京都大学大学院教育支援機構



<https://www.kugd.kyoto-u.ac.jp/>

 ILAS
INSTITUTE FOR LIBERAL ARTS AND SCIENCES



<https://www.z.kyoto-u.ac.jp/>

● お問い合わせ
京都大学学務部企画掛
〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1 東一条館
Mail: graduate_studies_office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp